

## 1/24 全国集会(高浜市民会館)に 600 名 デモ沿道から「村八分でも反対」の声



▲原発北門に到着した 300 人のデモ隊



▲原発北門から北に 150m。テントを建設

2月24日の全国集会の前段、原発ゲート前に至るデモが行われました。29日といわれる高浜原発再稼働阻止の行動の幕が開きました。ゲートを完全封鎖、ゲートに詰め寄ってシュプレヒコール。「再稼働を断念せよ」という抗議文の読み上げには大きな拍手がわきました。

### ●高浜町文化会館には 600 名が参加

午後、文化会館には続々とバスや乗用車が到着。北部から来た車両はびっしり氷に覆われた、北部から来た車両もあります。みなさんの熱い思いがうかがわれます。

福井県大熊町から駆けつけた木幡ますみ町議は、「故郷を失う再稼働を許してはいけない」と、切々と報告。小浜市の住職、中嶋哲延さんは、都市部からの大きな決起を訴えました。最後は大阪の学生が元気よく「現地で闘う」とアピール。釜ヶ崎の労働者は、沖縄・辺野古の

反基地運動、高浜の再稼働阻止行動に勝てば、安倍政治をひっくり返すことができると訴えました。

### ●「村八分」になっても反対」と叫ぶ叔母さん

いよいよ町内デモです。約 400 人が 3 つの梯団に分かれて、町並みを縦横に歩きます。「再稼働反対」の声が響き渡ります。

驚いたのは 1 人のおばさん。こぶしを振りあげながらデモ隊とすれ違う。「うるさい」と言っているのかと思えば「反対」、「反対」と連呼している。最後は「村八分になっても再稼働に反対」と叫び、店に入っていました。

私たちの思いは、必ず住民の中にしみとおります。「反対」と叫ぶ人が多数、登場します。再稼働は 29 日とか。その日まで連日、北門ゲートに張り付いて抗議行動を続けましょう。負けるわけにいかない行動が始まりました。